

コメント

1. RSウイルス感染症

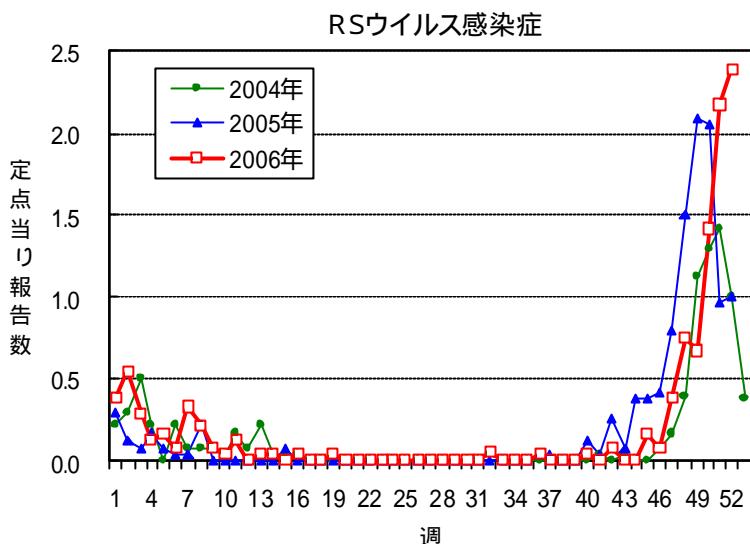
55人(定点当たり2.39人)とほぼ横ばいとなっています。年齢別では、0歳児21人、1歳児19人、2歳児9人となっており、2歳以下が89%を占めています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり10.4人と減少しています。安芸区では27.0人と特に多く、東区15.0人、佐伯区13.0人、中区10.0人となっています。

3. インフルエンザ

29人(定点当たり0.81人)と急増しています。まだ流行開始の目安とされている定点当たり1.00人に達していませんが、休み明けの動向に注意が必要です。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年(注年1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	29	0.81	5.54	↑	麻しん(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	9	0.39	0.12		流行性耳下腺炎	3	0.13	1.13	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.57	1.06	↔	RSウイルス感染症	55	2.39	/	↔
感染性胃腸炎	238	10.35	16.02	◇	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	55	2.39	3.70	↔	流行性角結膜炎	2	0.25	1.20	
手足口病	-	-	0.27		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	10	0.43	0.14		無菌性髄膜炎	-	-	0.17	
突発性発しん	16	0.70	0.77		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.26	
百日咳	-	-	0.12		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	-		成人麻しん	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.09	0.05						

急増減	↑ ↓	前週比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗ ↘	前週比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗ ↗	前週比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3)成人麻しんを除く

(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

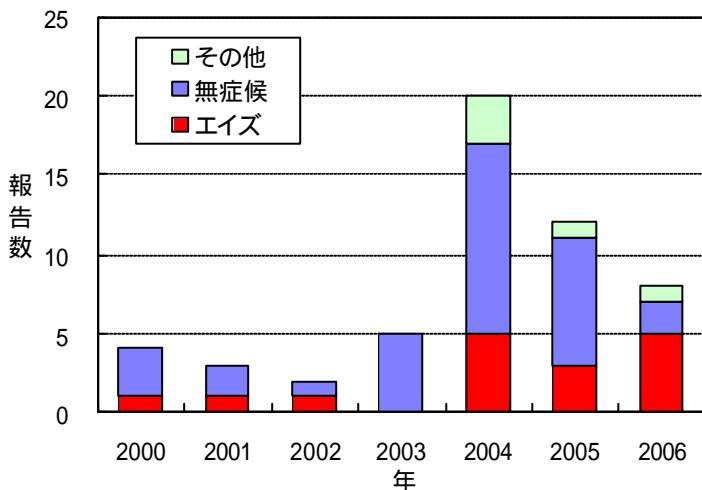
		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	球菌溶血性咽頭炎	A群感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSVウイルス	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	第48週	4	11	43	482	68	-	2	12	-	-	1	-	2	18	1	3	1	-	2	-	
	第49週	19	8	44	470	37	1	1	13	-	-	-	-	3	16	-	6	1	-	10	-	
	第50週	19	14	54	446	54	2	12	17	1	-	-	-	6	34	-	7	-	1	6	-	
	第51週	14	14	41	397	54	2	9	6	-	-	-	-	7	52	-	5	-	-	3	-	
	第52週	29	9	36	238	55	-	10	16	-	1	2	-	3	55	1	2	-	-	4	-	
定点当たり	第48週	0.11	0.46	1.79	20.08	2.83	-	0.08	0.50	-	-	0.04	-	0.08	0.75	0.13	0.38	0.14	-	0.29	-	
	第49週	0.51	0.33	1.83	19.58	1.54	0.04	0.04	0.54	-	-	-	-	0.13	0.67	-	0.75	0.14	-	1.43	-	
	第50週	0.51	0.58	2.25	18.58	2.25	0.08	0.50	0.71	0.04	-	-	-	0.25	1.42	-	0.88	-	0.14	0.86	-	
	第51週	0.38	0.58	1.71	16.54	2.25	0.08	0.38	0.25	-	-	-	-	0.29	2.17	-	0.63	-	-	0.43	-	
	第52週	0.81	0.39	1.57	10.35	2.39	-	0.43	0.70	-	0.04	0.09	-	0.13	2.39	0.13	0.25	-	-	0.57	-	
全国	第50週	0.21	0.56	2.45	22.81	2.43	0.46	0.40	0.60	0.01	-	0.03	-	0.90	0.03	0.68	0.01	0.03	0.64	0.01	-	
	第51週	0.26	0.58	2.20	16.41	2.19	0.46	0.42	0.54	0.01	-	0.04	-	0.86	0.03	0.69	0.02	0.04	0.66	0.01	0.01	

注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	48	男	2006/11/18	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	0	男	2006/11/21	糞便	ノロウイルスG2群

参考】広島市における後天性免疫不全症候群の発生動向 (年間報告数の推移)



広島市では、2000年～2006年の7年間に54件報告されており、このうちエイズ患者は16件(30%)、無症候性キャリアは33件(61%)となっています。

年間報告数は2003年まで2～5件で推移していましたが、2004年は20件と急増し、2005年多く12件報告されました。

2006年は8件報告され、過去2年と比べると減少していますが、エイズを発症した患者の報告は5件となっており、2004年の5件と同数、2005年の3件より多くなっています。

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	合計
エイズ	1	1	1	0	5	3	5	16
無症候	3	2	1	5	12	8	2	33
その他	0	0	0	0	3	1	1	5
合計	4	3	2	5	20	12	8	54

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp